

平成28年度 指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	開設学年 (年次)	単位数	教材名等
総合基礎	総合基礎Ⅰ	1	1	自主教材

到達目標	様々な教科の基礎的な部分について反復学習を行うことで、基礎的な学力の着実な定着を図る。また集中して取り組むことで、自ら進んで学ぼうとする意欲を高める。
到達目標に向けての具体的な取組 【指導上の留意点】	基礎的な内容を継続的かつ多数回指導することにより、基礎学力の着実な定着を図る。具体的には10分の授業を週5回行う。演習を中心とし、答え合わせにおいて解けなかった問題については次回確実にできるように指導する。1か月に1回程度理解度を測定するための総括テストを実施し、不十分な場合には補講等を行い丁寧に指導する。また英検や漢検の取得を目標にした取り組みを行う。長期休業期間前には読書を行い、読書習慣の定着を図る。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法・評価のポイント
4月 5月	オリエンテーション	授業の計画・科目の内容についての説明。受動的態度でなく自ら積極的に取り組むことの重要性について特に指導する。	1. 出席状況は良好か。 2. 課題に集中し、真摯に取り組んでいるか。 3. 総括テストの結果 4. 取得した漢検や英検の級位
6月 7月	基本的な問題演習	基本的な問題を段階的に解かせ、確実に身につくまで学ばせる。	
8月	読書	教養を高めるに相応しい本の一覧を提示し、自ら選んで積極的に読書をするようにする。	
9月 10月	基礎的能力向上のための問題演習	基礎的能力の向上のための学習を継続的に取り組ませる。	
11月 12月	読書	読んだ本の内容や感想を記す「読書ノート」を作成させることで読書の質を高める。	
1月 2月	応用的な問題演習 資格取得	基礎的な内容が身についていることを確認しつつ、徐々に応用問題に取り組ませる。 英検や漢検の資格取得をめざす。	
3月			

平成28年度 指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	開設学年 (年次)	単位数	教材名等
総合基礎	総合基礎Ⅱ	2	1	自主教材

到達目標	様々な教科の基礎的な部分について反復学習を行うことで、基礎的な学力の着実な定着を図る。また集中して取り組むことで、自ら進んで学ぼうとする意欲を高める。
到達目標に向けての具体的な取組 【指導上の留意点】	基礎的な内容を継続的かつ多数回指導することにより、基礎学力の着実な定着を図る。具体的には10分の授業を週5回行う。演習を中心とし、答え合わせにおいて解けなかった問題については次回確実にできるように指導する。1か月に1回程度理解度を測定するための総括テストを実施し、不十分な場合には補講等を行い丁寧に指導する。また英検や漢検の取得を目標にした取り組みを行う。長期休業期間前には読書を行い、読書習慣の定着を図る。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法・評価のポイント
4月	オリエンテーション	授業の計画・科目の内容についての説明。受動的態度でなく自ら積極的に取り組むことの重要性について特に指導する。	1. 出席状況は良好か。 2. 課題に集中し、真摯に取り組んでいるか。 3. 総括テストの結果 4. 取得した漢検や英検の級位
5月	基本的な問題演習		
6月	発展的な問題演習	基本的な内容から発展的な問題を段階的に解かせ、確実に身につくまで学ばせる。	
7月	読書		
8月		「読書ノート」の内容を充実させるよう指導する。	
9月	発展的な問題演習	発展的能力の向上のための学習を継続的に取り組ませる。	
10月			
11月	読書	「読書ノート」をもとにした相互ディスカッションを行い、自らの読書の幅を広げる。	
12月			
1月	発展的な問題演習	発展的な内容であっても自信を持って解けるようになるまで反復演習させる。	
2月	資格取得	英検や漢検のさらなる上位の資格取得をめざす。	
3月			

平成28年度 指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	開設学年 (年次)	単位数	教材名等
総合基礎	総合基礎Ⅲ	3	1	自主教材

到達目標	様々な教科の基礎的な部分について反復学習を行うことで、基礎的な学力の着実な定着を図る。また集中して取り組むことで、自ら進んで学ぼうとする意欲を高める。
到達目標に向けての具体的な取組 【指導上の留意点】	基礎的な内容を継続的かつ多数回指導することにより、基礎学力の着実な定着を図る。具体的には10分の授業を週5回行う。演習を中心とし、答え合わせにおいて解けなかった問題については次回確実にできるように指導する。1か月に1回程度理解度を測定するための総括テストを実施し、不十分な場合には補講等を行い丁寧に指導する。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法・評価のポイント
4月	オリエンテーション	授業の計画・科目の内容についての説明。受動的態度でなく自ら積極的に取り組むことの重要性について特に指導する。	1. 出席状況は良好か。 2. 課題に集中し、真摯に取り組んでいるか。 3. 総括テストの結果
5月			
6月	発展的な問題演習	基本的な内容から発展的な問題を段階的に解かせ、確実に身につくまで学ばせる。	
7月			
8月	発展的な問題演習	発展的な能力の向上のための学習を継続的に取り組ませる。	
9月			
10月			
11月			
12月			
1月			
2月			
3月			